

方面を巧みに調和して、國家の發達を計ねばならぬと思ひます。

# 新入學兒童

藤井 利譽

百花笑を含む春陽四月の好季節に際し父兄は各々其愛兒を活潑なる團隊生活の新天地に送るのである、されば兒童の胸には小さいながらも多少の喜悅と希望とが閃めき同時に父兄は其幸福を祈り且つ其前途を慮るの念切なるものがあらう、毎年の事ではあるが此の時期は特に父兄の心せらるべき大切の場合であるが故に更めて左に要項の要求を掲げ一般の參考に供するのは時節柄必ずしも無益の業でないと思ふ。

▲學校と家庭の連絡 學校の教育方針と家庭の教養とが相背馳するやうでは到底教育の効果は擧るものでない、だから父兄は常に學校と協力して兒童を善導せねばならぬ例へば其兒童にして非常の

惡癖がある場合父兄は包まず其心身狀態に就て學校に打明けるが好い又學校の立場としては兒童の個性觀察は寧ろ校庭を中心とする教員の方が比較的正確を得るものであるから思當事があれば忌憚なく父兄の方へ注意を與へることは勿論である是れ家庭の觀察なるものは親子の感情として動もすれば一方に偏し校庭に於ける公平無私の觀察には及ぶべくもない尤も當校に於ては春秋二季各自父兄を招請して種々の注意を與ることとしてゐるが尙平注と雖も時々學校を參觀して愛兒の學習狀態其他の動作を見届るが好いと思ふ、尙通信簿を嚴重に檢べ且成るべく保存して其進歩を樂ましむるやうにしたなら従つて學績の上に尠からざる好果を及ぼすであらうと思ふ。

▲家庭教育と學校中心 父兄が家庭にありて其子弟を訓育するには力めて學校を中心とし決して兒童の面前に於て學校を非難したり或は教師の陰口杯を言つてはならぬ、兒童の親念にして既に學校を輕んずるの風を生せば根本的に學校教育は破壊されるゝの結果を來すのである、倘し學校の要求と

か處置とかに就て萬一不審の事ある時は直接學校に問ひ質して貰ひたい、又學校用品の如きは成べく現品を以て給與し且其の所要に不足することなきやう常に注意を拂ひ假りにも金銭を持たしめぬやうに勉めねばならぬ、抑々兒童に於ける惡癖の根源は多く金銭携帯に首まるものである。

▲服装と携帯品 當校の如きは多く中流以上の家庭の兒女を以て満されて居る所から兒童の品性素行に關しては餘り懸念する所なきも勢ひ服装の華美に失する恐れがある此事に關しては學校として勗て質素輕便を奨勵したとへ式日といへども華美に流れざるやう常に注意を怠らぬのであるが、どうも家庭各々の習俗として此事が未だ十分に省られないのは遺憾である併し兒童をして健全なる發達を遂しめやうとするのは尤も父兄の注意すべき所であらう、且携帯品等の出し入れに就ても能ふだけ人手を借らず生徒自身をして實行せしむることとは聽て其獨立心に何等かの効果を齎すものたるを以て父兄は常に注意すべきである、それから兒童の習ひとして能く携帯品を遺失することが多い

から傘と云はず辨當といはず其所持品には一々姓名を記入すべきである。

▲機會利用の好時期 兒童をして新入學を其一新期と覺らしむる事は極めて必要であると思ふ、所謂放恣なる自由生活より轉じて稍々秩序的の新生涯に入るのであるから實際此機會を利用して諸多の惡癖などを矯正するには其効果顯著なるものありと信する、例へば朝寢、間食、泣癖其他あらゆる從來の惡習慣を一掃することは比較的容易で「言ふことを聽かねば先生に告げる」など云ふのは即ち親の權威を自ら抛つ結果に歸するから寧ろ語を轉じてあなたには學校にあがるやうになつたではありませぬか」など勵ますのは元來一些事のやうであるが却々ききめがあると思ふ。

▲家庭自身の注意 抑々家庭の良否は直に兒童の品性其他學業の成績にも多大の關係を有するのみならず、特に家長の一舉一動は深き印象を與へるものであるから言語動作は勿論衣服飲食等の細事に至るまで苟も浮華輕佻の風が有てはならない、左れば學校の往復などには勉めて徒歩を奨勵し縦

一六

し雨天の日と雖も出來得るかぎり車に依らず質實剛健の風を養ふべきである、勿論衛生上の注意は云ふまでもない。

概略以上の事柄は、此の時期に於て當然父兄の一期は學校でも成るだけ校風に慣れるやうに寛なる取扱ひをなし居れば家庭に於ても其旨を含み餘りに監督嚴格に失せぬやうに注意ありたい是れ教育上よりするも將に衛生上よりするも極めて必要なる事柄である。

# 支那の婦人と子と もに就いて

法貴夫人

私は昨年まで四年ばかりの間支那の北京に生活して居りましたが、ホンのお供で参りましたのでありますから別段御話するやうな材料も持ちませぬ、又斯ういふ席に出まして皆さんの前でお話し

たこともございませぬから何を申して宜いのか少しも分りませぬが、只ホンの見て参りました支那の婦人と子供のことを申上げたいと思ひます。支那の上流の婦人は御承知の通り深窓の下に育立ちまして平生自分の家に居ります時でも一番奥の方に住んで居ります、滅多に表の方に出るといふやうなことはありません、況して男の人などに遭うといふことはありませぬ、奥さん同志は大變親密にして居るやうな方でも其奥さんの良人と互に知らないやうな有様でありまして又良人の方でもそれが風習でありますを敢て怪しむこともなく皆普通のことになつて居ります、さういふ風に男と席を交へるといふことは決して致しませぬ、それでありますから商品陳列所のやうな物が出來ましても何日が女の見る日で何日が男の日と極つて居るのでございませぬ、イツでございませぬか、岡山の孤兒院が参りまして活動寫眞を致しました時なども矢張りさういふ風に幾日は女の日と云ふやうに分けました、分けて致しませぬと女は一人も参りませぬ、或時私が或る女學校に参りまして